

働者の人数が多からである。労働者は率先して産兒制限法を行はねばならぬ。労働者が遊軍を作ることには資本家にとつては有利である。労働者は出来るだけ人数を少くせねばならぬ。労働者にとつてはストライキも必要であるが（「官注意と叫ぶ」）子供を生まない事も必要である（「社會主義の巨頭を衰した麒麟も老れば驢馬に若かず」）を下れなどと聴衆者は叫ぶ）社會も必要だが社會よりも自分が肝心だ。我々は我々の事を考へねばならぬ。人に厄介になつてはいけぬ。獨立の人間とたねばいけぬ。嘗て唐胡記者は「自分より優る子供を生か様國家により事はない自分より劣る子供を生か様國家に不利な事はない」といふ事を社説に書いたことがあつた。成程御尤もな話である。労働者階級は他の階級と同様な教育を受けねばならぬ。我々は教育の解放を要求するものである。

富の公平云々よりも我々は教育の公平を絶叫するものである。我邦に千萬人の青年男女がある。その中で 中學専門學校大學高等女學校に